

1

打吹駅スタンプ

スタンプ設置場所
倉吉線鉄道記念館

年 月 日 ()

2

関金駅スタンプ

スタンプ設置場所
倉吉線鉄道記念館

年 月 日 ()

廃線跡巡りはレンタサイクルが便利!

- JR倉吉駅内観光案内所 TEL0858-24-5370 9時~17時(元日休み) / 料金500円(6台・先着順)
- 倉吉白壁土蔵群観光案内所 TEL0858-22-1200 9時~17時(年末年始は短縮営業) / 料金500円(7台・先着順)
- せきがね湯命館 TEL0858-45-2000 10時~17時(月曜日休館・祝日の場合その翌日) / 料金1,000円(電動4台・要予約)

廃線跡探訪 1912-1985

FORMER JNR KURAYOSHI LINE TOURIST GUIDE MAP

倉吉線 旧国鉄

倉吉線の歴史

倉吉線の歴史



倉吉線の案内
昭和60年3月末で廃止となった国鉄倉吉線。廃線から30年以上経った現在でもレールやホーム跡が残り、トレンギングコースとして利用されている関金周辺をはじめ、市内各所にその遺構を残しています。地元住民や観光客の足として列車が行き交った当時の面影に思いを馳せて、もう一つの鉄道旅行、廃線跡探訪に出掛けてみませんか?

国鉄倉吉線は1912年(明治45年)、当時の上井駅(現・倉吉駅)と市街地の倉吉駅(後の打吹駅)を結ぶ「倉吉軽便線」として開業したのが始まりです。1941年(昭和16年)には倉吉~関金間11.0kmが延伸開通。1958年(昭和33年)には関金~山守間4.8kmが延伸開通しました。1972年(昭和47年)1月に倉吉駅を打吹駅に改称し、同年2月に上井駅を新駅舎完成にあわせて倉吉駅に改称しました。改正鉄道敷設法により中国山地を越え、姫新線の中国勝山駅(岡山県)まで陰陽連絡線として延伸の計画(南勝線)があり起工式も行われましたが、並行するバスやマイカーの普及に勝てず建設が放棄されました。国鉄倉吉線も、整備が進んだ道路を走る運行本数の多いバスの競合には敵わず、1981年(昭和56年)9月に国鉄再建法による第1次特定地方交通線に選定されて全区間の廃止が確定、1985年(昭和60年)3月31日の山守駅22時7分発、倉吉行き最終列車を最後に72年の歴史に幕を下ろしました。

倉吉線年表

1912年	明治45年/6月	倉吉軽便線として上井~倉吉間(4.2km)が開通
1912年	大正元年/10月	上灘駅開業
1922年	大正11年/9月	軽便線の呼称廃止により倉吉線に改称
1941年	昭和16年/5月	倉吉~関金間(11.0km)が延伸開通 西倉吉駅、小鴨駅、上小鴨駅、関金駅が開業
1958年	昭和33年/11月 12月	小鴨駅無人化 関金~山守間(4.8km)が延伸開通 泰久寺駅、山守駅開業
1961年	昭和36年/10月	上小鴨駅を業務外部委託化
1962年	昭和37年/4月	関金駅を業務外部委託化
1972年	昭和47年/1月 2月	倉吉駅を打吹駅に改称 上井駅を倉吉駅に改称
1974年	昭和49年/4月 10月	蒸気機関車の運転を廃止し、ディーゼル機関車へ 4月28日米子~関金間でSLさよなら列車運転 関金駅の貨物取扱を廃止
1981年	昭和56年/9月	第1次特定地方交通線として廃止を承認
1983年	昭和58年/12月	西倉吉駅、打吹駅の貨物取り扱いを廃止
1985年	昭和60年/3月	全線を廃止しバス路線に転換



- 倉吉線データ**
- 路線総延長距離:19km810m【倉吉~山守間】
 - 路線高低差:180m【倉吉駅海拔11m、山守駅海拔191m】
 - 路線再急勾配:25/1000‰【上小鴨~関金間、関金~泰久寺間】※1,000m進む毎に25m登る
 - 路線再急曲線:R=261m52【倉吉~上灘間の松崎街道前後】※半径261m
 - 橋梁数:11か所 / ●架道橋:7か所 / ●踏切数:46か所

●田国鉄倉吉線の廃線跡は倉吉駅から終点の山守駅跡まで約20キロあります。散策にはレンタサイクル市内の各観光案内所湯命館にて有料貸出ありや路線バス利用が便利です。
●廃線跡は現在、公道道路や公園になっていく箇所が多くありますが、交通規則や利用規則に従い、他人の迷惑となるような行為は慎みましよう。またマイカー利用の際の路上駐車や私有地の無断立ち入りは絶対にお止めください。
●廃線跡はみんなの貴重な財産です。一人一人の心がけてこの貴重な鉄道遺産を守りましよう。

廃線跡散策の心得

- 倉吉駅
- 上灘駅
- 打吹駅
- 西倉吉駅
- 小鴨駅
- 上小鴨駅
- 関金駅
- 泰久寺駅
- 山守駅



泰久寺駅

勾配の関係で泰久寺集落より少し山守側に設置された泰久寺駅だが、現在はホーム跡と駅跡板(レプリカ)が残る。廃線跡の人気スポットの一つ。現在、駅前の広場は私有地となっております。農作業の邪魔にならないよう、駐車場所に留意ください。

泰久寺駅舎(当時) 泰久寺駅跡(現在)

打吹駅～西倉吉駅間

現在、福吉鉄橋も解体され、線路跡も県道として整備されており当時の面影がほとんどない区間だが、福守町付近にはレールモニュメントが、西倉吉駅は当時のホームとレールが一部保存されている。

レールモニュメント 西倉吉駅跡

上灘駅

駅のすぐ西側に踏切があり、運転手が列車の停止位置に特に気を遣ったという。周辺に大きな企業や県事務所、高校があり朝夕は通勤、通学客で賑わった。現在の駅舎はサイクリングロードステーションとして廃線後に建てられたものである。

上灘駅舎(当時) 上灘駅跡(現在) 石碑

打吹駅～西倉吉駅間

福守町付近(当時) 福吉鉄橋(当時) 福吉鉄橋ガード(当時)

松河原・竹林・山守トンネル

廃線跡の松河原集落からは現在でもレールが残存している。のどかな田園を抜け、泰久寺駅跡からは幻想的な竹林の中を線路が延びている。その先にある山守トンネルは観光協会主催の廃線跡トレッキングツアーに参加すれば中を歩く事が可能。

- 廃線跡トレッキングツアー
- 4～6月・9～11月催行 / ●15名以上から受付
- 参加料お一人様550円
- ※個人でも参加可能なオープンデーを上記催行月の第3日曜日他に開催中
- ※問い合わせ先 倉吉観光MICE協会 TEL:0858-24-5371

竹林(現在) 山守トンネル入口 松河原(現在)

山守駅

終点の山守駅は現在、駅舎も残されておらず。当時の桜が数本残るのみ。当時、列車が行き来したとは思えないほど静かな雰囲気にも包まれている。

山守駅(当時) 山守駅跡(現在)

関金駅

現在、関金駅の駅舎は解体、線路跡も県道に整備されており鉄道遺構は残されていないが、駅前だった道路には桜並木が今も残る。また公民館には「駅前公民館」の看板が掲げられ、当時の面影を見ることが出来る。

関金駅舎(当時) 関金駅跡(現在)

倉吉線鉄道記念館

打吹駅跡に整備された倉吉線の貴重な写真、当時活躍したSLなどを展示した資料館。貨物入換に使用したスイッチャーも展示。

- 入場無料、年中無休
- 開館時間:午前9時～午後5時

倉吉線鉄道記念館(SL静態保存) 倉吉線鉄道記念館(正面) 協三工業製貨車移動用ディーゼル機関車 C1175蒸気機関車 打吹駅舎(当時)

桜並木

西倉吉～上小鴨間はサイクリングロードとして整備されており、約3.9kmにわたり桜並木が続いている。

桜並木

生竹鉄橋

上小鴨～関金間にあったガーター橋「生竹鉄橋」は現在でもその姿を見ることが出来る。(現在、枕木の腐食が見られるため、鉄橋上への立ち入りは禁止です)

生竹鉄橋(当時) 生竹鉄橋(現在)

竹田鉄橋

天神川を跨いでいた竹田鉄橋は現在、その姿を見ることはできないが、両岸には一部築堤が残る当時の面影を残している。

竹田鉄橋

倉吉線跡

倉吉線跡の各ポイント:

- 1 倉吉ホーム(当時)
- 2 倉吉ホーム跡(現在)
- 3 倉吉駅
- 4 倉吉街道踏切(当時)
- 5 倉吉線思い出公園
- 6 倉吉線跡(現在)
- 7 橋台跡(現在)
- 8 山根踏切跡(現在)
- 9 伊木第一踏切(当時)
- 10 伊木第一踏切(現在)
- 11 倉吉線跡(現在)
- 12 倉吉線跡(現在)
- 13 倉吉線跡(現在)
- 14 桜並木
- 15 生竹鉄橋(当時)
- 16 関金駅舎(当時)
- 17 関金駅跡(現在)
- 18 泰久寺駅舎(当時)
- 19 泰久寺駅跡(現在)
- 20 山守駅舎(当時)
- 21 山守駅跡(現在)

画像提供:石賀敬之様/海地謙一様/同志社大学鉄道同好会OB様